



プラットフォーム学卓越大学院
Kyoto University School of Platforms

プラットフォーム学 卓越大学院プログラム 履修者出願受付中！

【出願期間：令和6年4月5日(金)～**4月16日(火)13時必着**】
出願受付期間を延長しました！！

* 4月入学修士課程・博士後期課程募集

■ 出願資格 令和6(2024)年度4月に以下の研究科・専攻の
修士課程・博士後期課程に入進学した者。

情報学研究科：情報学専攻

農学研究科：農学専攻、森林科学専攻、応用生物学専攻
地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻

* 修士課程2年次特別選抜募集

■ 出願資格 以下の(1)～(3)の条件を満たす者。

(1) 令和6(2024)年4月に下記のいずれかの専攻の修士課程2年次に進級する者。

情報学研究科：情報学専攻

農学研究科：農学専攻、森林科学専攻、応用生物学専攻
地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻

(2) 上記いずれかの専攻で博士の学位を取得しようとする者。

(3) 令和5(2023)年度情報学研究科後期科目「プラットフォーム学
展望」を履修済みの者。

詳しくは、<https://www.platforms.ceppings.kyoto-u.ac.jp/>



※出願にあたり、「受入承諾書」が期限に間に合わない場合は、
プラットフォーム学卓越大学院事務部へご相談ください。

お問い合わせ

京都大学大学院教育支援機構横断教育プログラム推進部

プラットフォーム学卓越大学院プログラム事務部

(本部構内総合研究9号館A棟104号室)

TEL:075-753-9218 e-mail : platform_104@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp





プラットフォーム学卓越大学院プログラムの紹介

2021（令和3）年度から新しく「プラットフォーム学卓越大学院プログラム」がスタートしました。京都大学の情報学研究科、農学研究科、医学研究科、防災研究所、公共政策大学院に加え、関連する国内外の大学、研究機関、民間企業などが連携する教育プログラムです。



プラットフォーム学卓越大学院
Kyoto University School of Platforms

詳しくは、<https://www.platforms.ceppings.kyoto-u.ac.jp/>

■ 卓越大学院プログラムとは？

- 国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した **5年一貫の博士課程学位プログラム** であり、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成します。
- 京都大学には他に「メディカルイノベーション」と「先端光・電子デバイス創成学」の2つの卓越大学院プログラムがあります。

■ 本プログラムの目的とは？

- 農業、医療、防災などの様々な分野で発生する社会リスクを低減するためには、①社会に遍在する各種情報を広範囲に収集する、②デジタルデータ化して蓄積する、③大規模データを整理・分析・共有することが必要となります。そして、これらを行うためには **情報通信技術（ICT）を利用した「プラットフォーム」**を整備し、利活用することが求められています。
- 複数学術の系統的連携により、新しいプラットフォームを構築するための基礎となる「**プラットフォーム学**」の創出を目指します。
- プラットフォーム学をもとに、社会を駆動する新たなプラットフォーム構築に責任感と高い倫理性を持って挑戦する国際的人材の育成を目指します。



■ どの専攻が参画しているか？

- 情報学研究科情報学専攻に所属している学生がこのプログラムを履修する資格を有します。
- 農学研究科（農学、森林科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、各専攻）からの履修学生と共に学びます。

■ どのような教育プログラムか？

※ 詳しくは **ホームページから履修要項** を参照してください

- 以下が必修科目となり、情報学研究科の修了要件を満たすことが必要です。博士論文は卓越大学院でも審査されます。

プラットフォーム学展望	修士1回生 (2単位)	情報通信技術の観点からプラットフォーム学を俯瞰し、知能情報学・先端数理科学・数理工学・システム科学・通信情報システムに関する講義	※情報学研究科修士課程の修了要件 30単位に含めることができます。
プラットフォーム学セミナー	修士2回生 (2単位)	農学、医学、防災でのプラットフォームの実際、利活用に関する最新研究動向、プラットフォーム利用企業のケーススタディ、データの収集・処理・利活用の実習	
プラットフォーム学特別セミナー1	博士1回生 (2単位)	プラットフォームの開発戦略、ビジネスモデルのケーススタディ、情報の入手方法・フォーマット・利活用法	
プラットフォーム学特別セミナー2	博士2回生 (2単位)	プラットフォームの社会展開、国際展開のための法律なども含む基礎学術	

※これらの科目は、卓越大学院プログラム履修者以外でも他専攻科目として履修が可能です。

- 所属する情報学研究科の主専攻分野に加え、修士2回生時に副専攻分野を選択します。異なる分野の教員からも指導を受ける**複数指導体制**となります。
- 研究資金支援やリサーチアシスタント、ティーチングアシスタント雇用による支援を**修士課程から**受けられる予定です。
- 博士課程では、インターンシップ、マッチングイベント、産学官シンポジウムなどを経験します。
- 修士2回生から博士2回生の各学年において、研究進捗状況報告や単位取得状況などに基づく評価を受けます。
- 博士学位授与は情報学研究科から行われ、**博士（情報学）**もしくは**博士（総合学術）**が授与されます。本プログラム修了の旨が学位記に附記されます。

■ プログラム履修生になるには？

※ 詳しくは **ホームページから募集要項** を参照してください

- 情報学研究科情報学専攻の修士課程に入学する学生に出願資格があります。
- 書類審査（必要に応じて面接審査）によって選抜します。定員は修士課程12名（令和6年度の場合）です。
- 定員の状況によっては、修士課程2回生と博士後期課程に入進学した者に対してプログラム3年次からの編入を募集し、選抜することがあります（令和5年度・令和6年度の定員は各年度3名）。

履修者募集説明会を実施します。

日時:4月5日(金) 18:00~19:00

場所:総合研究9号館A棟2階202・203号室 開催形態:ハイブリッド形式 オンライン参加:Zoom(同時配信)

参加希望者はGoogleフォームに必要事項を入力。(締切4月5日(金)13:00) <https://forms.gle/Ni4qtWXH2haVUpHGA>

※終了しました。



プラットフォーム学卓越大学院プログラムの紹介

2021（令和3）年度から新しく「プラットフォーム学卓越大学院プログラム」がスタートしました。京都大学の情報学研究科、農学研究科、医学研究科、防災研究所、公共政策大学院に加え、関連する国内外の大学、研究機関、民間企業などが連携する教育プログラムです。



プラットフォーム学卓越大学院
Kyoto University School of Platforms

詳しくは、<https://www.platforms.ceppings.kyoto-u.ac.jp/>

■ 卓越大学院プログラムとは？

- ・国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した**5年一貫の博士課程学位プログラム**であり、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成します。
- ・京都大学には他に、「メディカルイノベーション」と「先端光・電子デバイス創成学」の2つの卓越大学院プログラムがあります。

■ プラットフォーム学卓越大学院プログラムの目的とは？

- ・**農業、医療、防災**などの様々な分野で発生する社会リスクを低減するためには、①社会に遍在する各種情報を広範囲に収集する、②デジタルデータ化して蓄積する、③大規模データを整理・分析・共有することが必要となります。そして、これらを行うためには**情報通信技術（ICT）**を利用した「プラットフォーム」を整備し、活用することが求められています。
- ・**情報学と現場領域（農業、医学、防災等）および文系学術との系統的連携**により、新しいプラットフォームを構築するための基礎となる「プラットフォーム学」の創出を目指します。
- ・プラットフォーム学をもとに、社会を駆動する新たなプラットフォーム構築に責任感と高い倫理性を持って挑戦する国際的人材の育成を目指します。

【農学×情報学での人材育成イメージ】



■ どの専攻が参画しているか？

- ・農学研究科の以下の5つの専攻に所属している学生がこのプログラムを履修する資格を有します。
農学専攻、森林科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻
- ・情報学研究科からの履修学生と共に学びます。

■ どのような教育プログラムか？

※詳しくは、履修要項を参照してください。

- ・以下が必修科目となり、農学研究科の修了要件を満たすことが必要です。博士論文は卓越大学院でも審査されます。

プラットフォーム学展望	修士1回生 (2単位)	情報通信技術の観点からプラットフォーム学を俯瞰し、知能情報学・先端数理科学・数理工学・システム科学・通信情報システムに関する講義	※農学研究科修士課程の修了要件30単位に含めることができます。
プラットフォーム学セミナー	修士2回生 (2単位)	農学、医学、防災でのプラットフォームの実際、利活用に関する最新研究動向、プラットフォーム利用企業のケーススタディ、データの収集・処理・利活用の実習	
プラットフォーム学特別セミナー1	博士1回生 (2単位)	プラットフォームの開発戦略、ビジネスモデルのケーススタディ、情報の入手方法・フォーマット・利活用法	
プラットフォーム学特別セミナー2	博士2回生 (2単位)	プラットフォームの社会展開、国際展開のための法律なども含む基礎学術	

※これらの科目は、卓越大学院プログラム履修者以外でも他専攻科目として履修が可能です。

- ・所属する農学研究科の主専攻分野に加え、**副専攻分野**を選択します。異なる分野の教員からも指導を受ける**複数指導体制**となります。
- ・**研究資金申請**や**リサーチアシスタント**、**ティーチングアシスタント雇用**による支援を**修士課程**から受けられる予定です。
- ・博士課程では、インターンシップ、マッチングイベント、産学官国際シンポジウムなどを経験します。
- ・修士2回生から博士2回生の各学年において、研究進捗状況報告や単位取得状況などに基づく評価を受けます。
- ・博士学位授与は農学研究科から行われ、博士（農学）が授与されます。本プログラム修了の旨が学位記に附記されます。

■ プログラム履修生になるには？

※詳しくは、募集要項を参照してください。

- ・農学研究科の上記5つの専攻の修士課程に入学する学生に願資格があります。
- ・書類審査（必要に応じて面接審査）によって選抜します。
- ・定員の状況によっては、修士課程2回生と博士後期課程に入進学した者に対してプログラム3年次からの編入を募集し、選抜することがあります。

情報通信技術を活用したプラットフォームを構築することで、**農学研究および農学における課題解決の進展**が期待されます。「プラットフォーム学卓越大学院」で先端研究に挑戦しませんか。